

北上市総合計画 2021～2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和6年度）

基本方針	8.環境にやさしい、安全・安心な暮らしの形成
基本施策	8-2.循環と共生による持続可能な社会形成
関連するプロジェクト	

豊かな自然と都市空間が共生する住みよい住環境の実現に向け、自然環境保全と地域に応じた再生可能エネルギーの普及とともに、資源循環型社会に向けた取組を推進します。また、企業活動に伴う環境影響や日常生活で生じる悪臭や騒音等を防止し、より良い地域環境づくりに取り組みます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
A

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
18

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)		成果指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況評価	達成状況に至る要因の分析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
1	生活環境部		花いっぱい運動の推進	環境美化意識の向上、地域コミュニティの活性化を維持するため、活動内容についてより効率的・効果的な方法を取り入れ、少ない人数や個人でも取り組みやすい事業展開を行い、潤いある緑豊かなまちづくりを推進する。	①	指標に基づく事実	花苗配布団体数は減少傾向で期待値を下回っている。	B	指標に関する内容	広報や市ホームページ等により配布団体の募集を行ったが、新規申込数より辞退数が上回り、結果として花苗配布団体数が減少した。	指標に関する内容	高齢化や少子化により地域コミュニティが縮小傾向にあり、地域花壇の維持管理が難しくなっている。	◇花苗配布団体の増加を図るため、周知先の拡大や周知方法について検討する。 ◇各講習会は継続して実施する。
					指標以外の事実	・講習会、しらゆり植栽地の整備、花いっぱいコンクール及び市民集会を開催した。 ・コンクール参加団体数は横ばい(R5:64団体→R6:64団体)で、講習会参加者数は減少(R5:155人→R6:132人)した。	(B)	指標以外の内容	地域住民を対象にした講習会を開催しているが、開催場所が毎年異なるため、地域によって参加人数に差がある。	指標以外の内容	毎年講習会や花壇コンクールに参加する市民・団体もあり、花いっぱい運動に関する市民意識は一定程度定着していると思われる。		
2	生活環境部		省エネ行動と再生可能エネルギー利用の推進	子ども向け教室や出前講座等で再生可能エネルギーや環境問題に対する理解を深め、自然に省エネ行動ができる環境配慮型の人材を増やしていく。 かむいソーラーの売電収益を活用した公共施設の省エネ化を進め、効果を市民に周知するとともに、太陽光発電等の再生可能エネルギーを導入しようとする市民を支援し、カーボンニュートラルの実現を目指す。	②	指標に基づく事実	再生可能エネルギー設備(太陽光・蓄電池)の導入について、個人住宅への補助金交付件数が期待値を達成している。	A	指標に関する内容	北上市住宅用おひさまパワー活用設備設置費補助金の補助内容を広報等で周知したことにより、再生可能エネルギー設備の導入を検討する市民にしっかりと情報が届いている。	指標に関する内容	気候変動による全国的な異常気象や災害の発生を受け、市民の再生可能エネルギー設備の関心が高まっている。	◇おひさまパワー活用設備設置費補助金を継続して実施 補助金の交付に係る申請件数は年々増加しており、住宅へ再生可能エネルギーを導入する市民ニーズは高まっている。 ◇きたかみこども未来塾については、夏・冬休みの開催が難しく、申込者が減少し事業の継続が難しくなっていることから今後の事業実施について検討する。 ◇エコチャレンジについては児童及び保護者が省エネや温暖化対策について家庭で考える機会を提供しているため継続して実施する。
					指標以外の事実	小学生を対象にきたかみこども環境未来塾とエコチャレンジを実施し、再生可能エネルギーや環境問題に対する理解を深めた。	(A)	指標以外の内容	きたかみこども環境未来塾は対象学年の児童にチラシを配布し周知を行った。 エコチャレンジは定着しており、市内全小中学校で取り組めた。	指標以外の内容	きたかみこども環境未来塾は講師との日程調整により開催日の調整が難しくなっている。		
3	生活環境部		環境監視の充実と公害防止対策の推進	環境保全協定の締結事業所を中心に立入検査や立入測定による訪問指導を継続するとともに、専任環境監視員による環境監視パトロールを効率的かつ継続的に実施することで、公害の発生抑制や環境汚染事故の未然防止対策を推進する。	③④	指標に基づく事実	指標③ 河川BOD基準達成率100% 指標④ 協定基準値締結事業所 46/47=97.8% (悪臭測定の1項目で基準値超過)	A	指標に関する内容	訪問指導を適切に行っており、ほぼ全ての事業所が法定よりも厳しい値に設定している協定値を遵守している。	指標に関する内容	改善はその都度図られているものの、対症療法的なやり方が多い。また、協定締結事業所の中には、施設の老朽化が進んでいる所がある。	◇環境保全協定の締結事業所への立入検査を継続して実施していく。 2年以上遵守できなかった事業所については、施設の改修を求めるなど指導を強化していく。 ◇専任環境監視員による環境監視パトロールを継続して実施している。
					指標以外の事実	専任環境監視員による環境監視パトロールの実施及び油漏れ事故等における迅速な初動対応及び指導を実施することで、公害の発生抑制や環境汚染事故の未然防止を推進できている。	(B)	指標以外の内容	専任環境監視員による環境監視パトロールや立入調査を効果的に実施している。	指標以外の内容	環境保全協定の締結が、事業所の環境汚染事故防止につながっている。		

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)	成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
								市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
4	生活 環境 部		ごみの発生抑制とリサイクルの推進 可燃ごみ・不燃ごみが最終処分されるまでの処理過程やごみ処理手数料の使途などを市民に可視化することにより、4R(断る、減らす、再使用、リサイクル)の意識高揚を図る。 不要なレジ袋を辞退するようマイバッグ持参を呼び掛けるなどプラスチックごみの削減に取り組む。 30・10運動の拡大とリサイクルの意識啓発を行い、事業所から生じる食品ロスの減量と紙の資源化を図る。	⑤⑥	指標に基づく事実 ⑤リサイクル率はR5年度比1.1ポイント増加したが期待値を下回っている ⑥一人1日当たりのごみ排出量はR5年度比で39減少し、期待値を上回っている。	B	指標に関する内容 不燃ごみの中から小型家電類を手選別で分け再資源化委託を行うことにより、不燃ごみの埋立量を減らすとともにリサイクル率の向上を図っている。	指標に関する内容 資源ごみ自体の容量は大きく変わっていないが、近年は技術の進歩により資源ごみ自体の軽量化が進んでおり、総ごみ量に占める資源ごみの重量で算出するリサイクル率については、大きな増加は見られない。	◇ごみ分別アプリの多言語化(5か国語追加)を実施し、外国人を対象としたごみの分別の意識啓発を図るとともに4Rの推進を図った。(R7.8月) ◇事業系紙ごみの資源化を推進するため、事業者向けに紙類リサイクルの意識啓発チラシを作成し、配布予定(R7.9月予定) ◇スーパー等で行っている資源ごみの店頭回収について、事業者に情報提供を依頼し、市内のリサイクル量として把握する。(R7.9月～)			
					指標以外の事実 ・家庭ごみの総量(資源ごみを除く)は約13,276トンでありR5年度比で128トン減少した。 ・産業廃棄物を除く事業系ごみの総量は約8,045トンであり、R5年度比で172トン減少した。		指標以外の内容 ごみの分別に係る出前講座の実施や、イベント参加時にごみ分別アプリの周知を行う等、4Rの意識啓発を行い、ごみの減量化の促進を図った。	指標以外の内容 岩手中部クリーンセンターに搬入される事業系可燃ごみの中にリサイクル可能な紙ごみが散見されるため、事業系紙ごみの資源化率については改善の余地がある。				
5	生活 環境 部		ごみの不適正排出、不法投棄の防止 関連機関と連携し、アパート入居者へごみ分別の周知・指導を強化するほか、不法投棄防止パトロールやクリーン活動の実施結果を市民に周知するなど、不適正排出・不法投棄防止及び海洋プラスチックごみの発生防止に向けて意識啓発を図る。	⑦	指標に基づく事実 清掃活動参加人数は、25,644人とR5年度比で224人増加したが、期待値を下回っている。	B	指標に関する内容 地区の公衆衛生指導員を通じて、清掃活動参加者に対し市の手数料袋を配布し、清掃活動参加者の増加を図った。	指標に関する内容 地区の清掃活動において、コロナ禍中に規模縮小していた活動を、コロナ禍前の規模・回数で実施する地区が年々増えてきている。	◇ごみ収集事業者が収集を行った際に、不適正排出ごみ等を発見した場合に市に報告するロゴフォームを作成し、市民からの問合せ等があったに対し詳細に対応できるようにし、分別指導の強化を図るとともに、ごみの不適正排出の抑制に努めた。(R7.8月) ◇市内約900箇所のアパート専用のごみ集積所看板に多言語対応したごみ分別アプリ「さんあ～る」のQRコードを貼り、アプリの周知を図るとともに外国人に対しての分別意識の啓発を図る(R7.9月以降) ◇広瀬川せせらぎ緑道周辺のごみ拾い活動に参加し、ポイ捨て状況の調査を行う。(R7.7月～)			
					指標以外の事実 ・公衆衛生指導員が中心となって行われる不法投棄監視パトロールは、市内を17ブロックに分けて各地区において延べ70回実施され、R5年度比で10回の増加となり、不法投棄防止活動の推進が図られている。 ・アパート入居者等による、資源ごみ常設ステーションへの不適正排出の増加がみられる。		指標以外の内容 公衆衛生指導員に対して、不法投棄監視パトロールの強化について呼びかけを行った。	指標以外の内容 ごみ減量専任指導員を中心として、アパート入居者等に対してごみの分別指導を継続して行っているが、外国人転入者も多く、十分な指導が難しくなっている。				

凡例 ●実績値 — 期待値

指 標 ①		指標の説明								指 標 ②		指標の説明								指 標 ③		指標の説明								
花苗配布団体数		花苗配布を希望する団体実数(花いっぱい運動への協力団体)								おひさまパワー活用設備設置費補助金申請件数		補助金の交付決定をした設備数								市内類型指定河川のBOD値(75%値)基準達成率		岩手県が測定した河川のBOD(生物化学的酸素要求量)が、定められた基準を達成している割合 ※公表される時期が遅い								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	団体	実績値	219	216	211	207	207	199		生活環境部	件	実績値	57	68	92	122	122	106		生活環境部	%	実績値	100	100	100	100	100			
		期待値 ※R7は目標値	219	219	219	219	219	219	219			期待値 ※R7は目標値	57	64	71	79	86	93	100			期待値 ※R7は目標値	100	100	100	100	100	100	100	
		備 考										備 考											備 考	H30値	R1値	R2値				未公表
指 標 ④		指標の説明								指 標 ⑤		指標の説明								指 標 ⑥		指標の説明								
環境保全協定締結事業所の協定基準順守率		排水やばい煙などについて、協定で定めた協定値を順守している企業の割合								リサイクル率(事業系資源、焼却灰を含む)		総ごみ量に対する総資源化量の割合 ※総ごみ量:家庭系ごみ(可燃、不燃、資源)及び事業系ごみ(可燃、不燃、資源) ※総資源化量:集積所収集に加え、イベント回収による小型家電、市に報告のある事業系資源、セメント原料になる岩手中部クリーンセンター焼却灰などの資源物の総量								一人1日当たりのごみ排出量(資源ごみを除く)		住民基本台帳人口(9月末現在)一人1日当たりの家庭系ごみ(可燃、不燃)と事業系ごみ(可燃、不燃)を合わせた量								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	%	実績値	93.9	93.9	96.9	96.9	100	97.8		生活環境部	%	実績値	38.00	36.71	36.54	35.74	34.00	35.10		生活環境部	g	実績値	665	665	671	668	646	641		
		期待値 ※R7は目標値	93.9	94.9	95.9	97.0	98.0	99.0	100			期待値 ※R7は目標値	38.00	38.08	38.17	38.25	38.33	38.42	38.50			期待値 ※R7は目標値	665	662.7	660.3	658.0	655.7	653.3	651	
		備 考										備 考											備 考							
指 標 ⑦		指標の説明								指 標 ⑧		指標の説明								指 標 ⑨		指標の説明								
清掃活動参加人数(市衛連春秋清掃月間・クリーン活動・不法投棄監視パトロール、和賀川の清流を守る会の参加者)		年間の市内清掃活動人数																												
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	人	実績値	26,794	22,577	19,532	22,004	25,420	25,644				実績値										実績値								
		期待値 ※R7は目標値	26,794	26,795	26,796	26,797	26,798	26,799	26,800			期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値								
		備 考										備 考										備 考								
指 標 ⑩		指標の説明								指 標 ⑪		指標の説明								指 標 ⑫		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値										実績値										実績値								
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値								
		備 考										備 考										備 考								
指 標 ⑬		指標の説明								指 標 ⑭		指標の説明								指 標 ⑮		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値										実績値										実績値								
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値								
		備 考										備 考										備 考								